

7月12日 年間第 15 主日

## 行動へ

マルコによる福音書 6 章 7～13 節

<sup>7</sup>そして、十二人を呼び寄せ、二人ずつ組にして遣わすことにされた。その際、汚れた霊に対する権能を受け、<sup>8</sup>旅には杖一本のほか何も持たず、パンも、袋も、また帯の中に金も持たず、<sup>9</sup>ただ履物は履くように、そして「下着は二枚着てはならない」と命じられた。<sup>10</sup>また、こうも言われた。「どこでも、ある家に入ったら、その土地から旅立つときまで、その家にとどまりなさい。<sup>11</sup>しかし、あなたがたを迎え入れず、あなたがたに耳を傾けようとしめない所があったら、そこを出ていくとき、彼らへの証しとして足の裏の埃を払い落とささい。」<sup>12</sup>十二人は出かけて行って、悔い改めさせるために宣教した。<sup>13</sup>そして、多くの悪霊を追い出し、油を塗って多くの病人をいやした。

他の朗読：アモス 7:12～15 詩編 85:9～14 エフェソ 1:3～14

## Lectio …読む

マルコは少ない言葉で、イエスが弟子たちを「教室」の外へ、最初のキリスト教の伝道旅行へ向け行動を移すように促している様子を伝えています。彼は弟子たちに具体的な指示を与え、彼の御父である神だけが与えることのできる霊的権威で彼らの装備を整えました。

イエスの指示は明確でしたが、実行するには信仰を要しました。詳しく見てみましょう。

1) 彼らを遣わすことを決めるのはイエスです。弟子たちのアイデアではありません。「いつ」そして「どこへの」「どのような」旅なのか、イエスがすべてを決定するのです。

2) イエスは彼らが神のみを頼ることを重ねて強調します。そのために荷物はいりません。お金も食料も着替えも必要ないのです。

3) 旅は弟子たちのためのものではありません。彼らは神の呼びかけに応えなければいけないのです。そのため信仰と信頼は欠かせないものです。

4) 彼らの使命は、救いを告げ知らせることであり、病人のために祈り、悪霊を追い出すことです。

5) もし人々が、彼らも彼らの福音も受け入れないとき、怒る必要はありません。ただ、足の裏の埃を払い落とすという、ユダヤ教のよく知られたしきたりを行います。この行為は象徴的です。それは本来誇りのしるしであり、あなたと関わりになりたくない、という意味でした。それが今や、神の救いの知らせを拒否した人は自身の決定に責任を持つ、ということを目に見える形でお互いに確認させるしるしになったのです。

6) もちろん、今日私たちには「平和」が求められています。全て神の支配のもとに。

## Meditatio …黙想する

何故イエスは、弟子たちを二人ずつ遣わしたのだと思いますか。イエスが弟子たちに、病人を癒し、悪霊を追い出す権能をお与えになったのは何故でしょうか。何故イエスは、弟子たちが宣教するにあたって何も持たずに行くことを強調したのでしょうか。

神のため、何か新しいことに踏み出すように神があなたに頼んだことが、今までにあるでしょうか。そのときあなたは、どう感じましたか。そのとき何が起こりましたか。その経験からあなたは何を学びましたか。

## Oratio …祈る

詩編 85 編 8～13 節は神に注意深く耳を傾け、神に委ねることを知っている人の態度について描いています。肉体的、情緒的そして霊的に神があなたの必要を満たしてくださっていることを感謝しましょう。神の声を聞くのに、詩編作者がこれらの節で述べているのと同じような熱心さが自分にあるかどうか、神に尋ねてみましょう。

## Contemplatio …観想する

宣教が今日を中心テーマです。第一朗読においてアモスは、預言者として呼ばれ、試されます。しかし彼は自身が呼ばれたこと、与えられた使命、そして彼にそれを授けた方に何の疑いも持っていません。

エフェソ 1 章 3～14 節には、実に多くの驚くべき真理が含まれており、私たちの召命を確かなものとしてくれます。私たちは「あらゆる霊的な祝福」(3 節)で装備されています。私たちの罪は赦され、聖なる者となるように呼ばれています (7、4 節)。キリストによって私たちは神の息子、娘となり、神の家族として引き取られるのです (5 節)。信じることによって、私たちが神のものであることの証印として聖霊が与えられています。だから私たちは神の宣教の準備を整え、行動へ移すことができるのです。